



インドネシア共和国

Republic of Indonesia

2008年1月現在



一般事情

- 1.面積 約189万平方キロメートル(日本の約5倍)
- 2.人口 約2.19億人(2005年政府推計)
- 3.首都 ジャカルタ(人口870万人:2005年推計)
- 4.民族 大半がマレ - 系(ジャワ、スンダ等27種族に大別)
- 5.言語 インドネシア語
- 6.宗教 イスラム教87.1%、キリスト教8.8%、ヒンズ - 教2.0%他
- 8.通貨 **ルピア**
為替レート 1ドル = 9,137ルピア(2007年9月末)
補助通貨単位 100セン = SEN
- 9.査証(ビザ)
- 10.在留邦人数 24,858人(2006年12月末現在:入管統計)
- 11.在日当該国人数 11,090人(2006年10月現在:在留届に基づく)
- 12.電源 220 V 50 Hz
- 13.国際電話 国番号 62 国際通話コード 1
- 14.シガレット 小売価格 0.43 US\$ (20本当り)
税率 48.2%
製造数量 228,640 (百万本/年)
シガレットメーカー 本資料の最後に掲載

コンセント・タイプ



15.略史

| 年月 | 略史 |
|-------|---|
| 7世紀 | スマトラを中心に仏教王国スリウィジャヤ王国が成立。 以後ジャワを中心に仏教、ヒンズ - 王国が興る。 |
| 13世紀 | イスラム教の伝来(アチェ地方) |
| 1512年 | ポルトガル、モルッカ諸島のアンボンを占領 |
| 1602年 | オランダ、ジャワに東インド会社を設立。植民地経営に乗り出す。 |
| 1945年 | インドネシア独立宣言 |
| 1967年 | スカルノ、大統領の権限をスハルトに移譲 |
| 1968年 | スハルト、第2代大統領に就任 |
| 1998年 | ハビビ大統領就任 |
| 1999年 | ワヒッド大統領就任 |
| 2001年 | メガワティ大統領就任 |
| 2004年 | ユドヨノ大統領就任(第6代大統領) |

16.在外大使館・領事館

在インドネシア日本国大使館
Embassy of Japan in Indonesia
在ジャカルタ日本国総領事館
Consulate General of Japan in Jakarta
Jl. M.H. Thamrin 24, Jakarta Pusat (10350)
Tel: +62-21-31924308 Fax: +62-21-31925460

17.駐日大使館・領事館

インドネシア共和国大使館
Embassy of the Republic of Indonesia in Japan
〒141-0022 品川区東五反田5丁目2-9
電話: 03-3441-4201

在大阪インドネシア共和国総領事館 管轄区域: 近畿、中国、四国
Consulate-General of the Republic of Indonesia in Osaka
〒542-0081 大阪市中央区南船場4丁目4-21 リソナ銀行船場ビル6階
電話: 06-6252-9823, 06-6252-9824, 06-6252-9825, 06-6252-9826,
06-6252-9828, 06-6252-9871

在福岡インドネシア共和国名誉領事館 管轄区域: 九州、沖縄
Honorary Consulate of the Republic of Indonesia in Fukuoka
〒815-0081 福岡市南区那の川1丁目23-35 株式会社九電工 内
電話: 092-523-1691

在札幌インドネシア共和国名誉領事館 管轄区域: 北海道
Honorary Consulate of the Republic of Indonesia in Sapporo
〒060-8530 札幌市中央区大通西7-3-1 北海道ガス株式会社 内
電話: 011-207-2100

政治体制・内政

- 1.政体 共和制
- 2.元首 スシロ・バンバン・ユドヨノ大統領(2004年10月20日就任、任期5年)
- 3.議会 (1)国会(DPR): 定数550名
(2)国民協議会(MPR): 678名(国会議員550名と地方代表議員128名の計)
- 4.内閣 内閣は大統領の補佐機関で、大統領が国務大臣の任免権を有する。

(ユドヨノ大統領は、2005年12月に第1回内閣改造、2007年5月に第2回内閣改造を行った。)
 1998年5月、スハルト大統領辞任、ハビビ副大統領が大統領に。
 1999年6月、新しい制度の下で総選挙実施。
 10月、国民協議会においてアブドゥラフマン・ワヒッドが第4代大統領に選出。
 2001年7月、ワヒッドは国民協議会特別総会で解任され、同日、メガワティ副大統領が大統領に就任。
 2004年10月、初の大統領直接選挙の結果、ユドヨノ大統領就任。

外交・国防

- 1.外交基本方針 ASEANと連帯、非同盟・積極自主外交。
 2.軍事力 (1) 予算 28兆2,000億ルピア(2006年度実績値)
 (2) 兵役 志願制
 (3) 兵力 正規軍39万人(2006年 インドネシア国防省発表)
 (陸軍28.5万名、海軍6.5万人、空軍4万人)

経済

- 1.主要産業 鉱業(石油、LNG、アルミ、錫)、農業(米、ゴム、パ - ム油)、工業(木材製品、セメント、肥料)
 2.GDP(名目、億ドル)(インドネシア政府統計)

| 2001年 | 2002年 | 2003年 | 2004年 | 2005年 | 2006年 |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 1,641 | 2,038 | 2,433 | 2,576 | 2,813 | 3,652 |

- 3.一人当たりGDP(名目、ドル)(IMF)(2006年数値はインドネシア政府統計)

| 2001年 | 2002年 | 2003年 | 2004年 | 2005年 | 2006年 |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 673 | 930 | 1,091 | 1,165 | 1,283 | 1,663 |

- 4.経済成長率(実質、%)(インドネシア政府統計)

| 2001年 | 2002年 | 2003年 | 2004年 | 2005年 | 2006年 |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 3.8 | 4.5 | 4.8 | 5.1 | 5.6 | 5.5 |

- 5.物価上昇率(%)(インドネシア政府統計)

| 2001年 | 2002年 | 2003年 | 2004年 | 2005年 | 2006年 |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 12.6 | 10 | 5.1 | 6.4 | 17.1 | 6.6 |

- 6.総貿易額(百万ドル)(インドネシア政府統計)

| 年号 | 2000 | 2001 | 2002 | 2003 | 2004 | 2005 | 2006 |
|----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|---------|
| 輸出 | 62,124 | 56,321 | 57,159 | 61,058 | 71,585 | 85,660 | 100,690 |
| 輸入 | 33,515 | 30,962 | 31,289 | 32,551 | 46,525 | 57,701 | 61,078 |

- 7.貿易品目(2006年)(インドネシア政府統計)

- (1)輸出 石油・ガス(21%)、電気機器(7%)、鉱物燃料(6%)
 (2)輸入 石油・ガス(31%)、一般機器・輸送用機器(12%)、有機化学薬品(6%)

- 8.貿易相手国(2006年、非石油ガス)(インドネシア政府統計)

- (1)輸出 日本(15%)、EU(15%)、米国(13%)
 (2)輸入 EU(14%)、中国(13%)、日本(13%)

- 9.為替レート(IMF) 1ドル = 9,137ルピア(2007年9月末)

- 10.経済概況

1997年7月のアジア通貨危機後、政府はIMFとの合意に基づき、経済構造改革を断行。
 2004年末から2005年初めにかけて個人消費や輸出に支えられ経済は好調であったが、その後、石油燃料
 価格の値上げに端を発するインフレと高金利により成長率は鈍化。
 2006年は、インフレ率・金利の低下に伴い、消費が回復し、また過去最高額を記録するなど輸出が好調だっ
 たこともあり、経済は回復基調となった。

経済協力

- 1.日本の援助実績(単位:億円)(2005年度)

- (1)無償資金協力 63.32(E/Nベース)
 (2)有償資金協力 930.05(E/Nベース)
 (3)技術協力 85.22(JICA経費実績ベース)

- 2.主要援助国(2003年OECD/DAC)

- (1)日本 73.6% (2)米国13.6% (3)豪州5.6% (4)オランダ5% (5)フランス3.7%

二国間関係

- 1.政治関係 経済上の相互依存関係を背景に両国の友好協力関係は一層緊密化

- 2.経済関係 (1)対日貿易

(イ)主要品目

日本への輸出:石油・天然ガス、機械機器、銅鉱、エビ、天然ゴム、合板等

日本からの輸入:一般機械、電気機器、輸送用機器等

(ロ)貿易額(億ドル、インドネシア政府統計)

| 年号 | 2000年 | 2001年 | 2002年 | 2003年 | 2004年 | 2005年 | 2006年 |
|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 対日輸出 | 144.2 | 130.1 | 120.5 | 136 | 159.6 | 180.5 | 217.3 |
| 対日輸入 | 54 | 47 | 44.1 | 42.3 | 60.8 | 69.1 | 55.2 |

(2)日本からの直接投資(億ドル、インドネシア政府統計)

| 1998年 | 1999年 | 2000年 | 2001年 | 2002年 | 2003年 | 2004年 | 2005年 | 2006年 |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 13.3 | 6.4 | 19.5 | 7.7 | 5.1 | 12.5 | 16.8 | 11.8 | 4.4 |

- 3.在日インドネシア人 24,858人(2006年12月末現在:入管統計)

- 4.在留邦人数 11,090人(2006年10月現在:在留届に基づく)

5.要人往来(1990年以降、肩書きは当時)

(1)日本 インドネシア

| 年月 | 要人名 |
|------------------|---------------------|
| 1990年5月 | 海部総理大臣 |
| 1991年6月 | 中山外務大臣 |
| 1991年10月 | 天皇・皇后両陛下 |
| 1992年2月 | 高円宮殿下 |
| 1993年1月 | 宮沢総理大臣 |
| 1993年4月 | 森通商産業大臣 |
| 1993年8月、1994年8月 | 秋篠宮殿下 |
| 1994年11月(APEC出席) | 村山総理・河野外相・橋本通産相 |
| 1995年8月 | 橋本通産大臣 |
| 1996年7月 | 池田外務大臣 |
| 1996年9月 | 塚原通産大臣 |
| 1997年1月、1998年3月 | 橋本総理大臣 |
| 1998年9月 | 与謝野通産大臣 |
| 1998年11月、1999年7月 | 高村外務大臣 |
| 1999年11月 | 小淵総理大臣 |
| 2000年4月 | 河野外務大臣 |
| 2001年1月 | 高村法務大臣 |
| 2001年9月 | 中谷防衛庁長官 |
| 2002年1月、2003年10月 | 小泉総理大臣 |
| 2004年7月 | 川口外務大臣 |
| 2004年9月、12月 | 中川経済産業大臣 |
| 2005年1月 | 小泉総理、町村外務大臣、大野防衛庁長官 |
| 2005年4月 | 小泉総理、町村外務大臣 |
| 2006年7月 | 杓掛防災担当大臣/国家公安委員会委員長 |
| 2006年8月 | 額賀防衛庁長官 |
| 2007年1月 | 菅総務大臣 |
| 2007年8月 | 安倍総理 |

(2)インドネシア 日本

| 年月 | 要人名 |
|---------|---|
| 1990年 | アラタス外相 |
| 1992年 | アラタス外相、スダルモノ副大統領、スハルト大統領 |
| 1993年 | スハルト大統領、アラタス外相 |
| 1995年 | アラタス外相、スハルト大統領 |
| 1998年 | ハビビ副大統領 |
| 1999年 | アラタス外相、ワヒッド大統領 |
| 2000年 | ワヒッド大統領、アミン・ライス国民協議会議長 |
| 2001年 | メガワティ大統領、リニ・スワンディ産業貿易相 |
| 2002年 | サラギ農業相、リニ・スワンディ産業貿易相、 ドロジャトゥン経済担当調整相、ラクサマナ国営企業担当相 ブディオノ財務相、ダイ・バクティアル国家警察長官 |
| | ハッサン・ウィラユダ外相、ユドヨノ政治治安担当調整相 |
| 2003年 | アミン・ライス国民協議会議長、メガワティ大統領 リニ・スワンディ産業貿易相、サラギ農業相 ワヒッド大統領、ドロジャトゥン経済担当調整相 ラクサマナ国営企業担当相、ダイ・バクティアル国家警察長官 ハッサン・ウィラユダ外相、イ・グデ・アルディカ文化観光相 パギル・マナン最高裁長官、スナルト居住・地域基盤整備相 ブルノモ・エネルギー・鉱物資源相、プラコサ林業相 シャムスル・ムアリフ通信情報相 |
| 2005年 | ファミ・イドリス労働・移住相、ユスリル国家官房長官 ギナンジャール地方代表議会議長、アグン・ラクソノ国会議長 バクリー経済担当調整相、ユドヨノ大統領 アンドゥン工業大臣 |
| 2006年 | バクリー国民福祉担当調整相、ユスフ・カッタ副大統領 ギナンジャール地方代表議会議長、アディヤクサ青年スポーツ相 ハッタ・ラジャサ運輸大臣、ユドヨノ大統領 マリ・エルカ・パンゲストゥ商業大臣、ファミ・イドリス工業大臣 |
| 2007年2月 | ギナンジャール地方代表議会議長 |
| 2007年3月 | シティ・ファディラ・スバリ保健大臣 |
| 2007年5月 | スリ・ムルヤニ財務大臣 |
| 2007年5月 | マリ・エルカ・パンゲストゥ商業大臣 |
| 2007年5月 | ユスフ・カッタ副大統領 |
| 2007年8月 | ハッタ・ラジャサ国家官房長官 |

6.二国間条約・取極

1958年 日・「イ」平和条約
 1958年 日・「イ」賠償協定
 1963年 日・「イ」友好・通商条約
 1963年 日・「イ」航空協定
 1981年 日・「イ」科学技術協定
 1982年 日・「イ」租税協定

シガレットメーカー

| | |
|---|--|
| Gebangsari-Genuk | |
| N.V. Sumatra Tobacco Trading Company | Persatuan Pabrik Rokok Semarang (P.P.R.S.) |
| P.D. Taru Martani | |
| P.T. Bentoel Prima | |
| P.T. Djarum | |
| P.T. H.M. Sampoerna Tbk. (Indonesia) | |
| P.T. Kompas Agung | |
| P.T. Nojorono Tobacco Company Ltd. | |
| PT Bentoel Prima | |
| PT Djarum | |
| PT Gentong Gotri | |
| PT HM Sampoerna Tbk | |
| PT Nojorono | |
| PT Perusahaan Rokok Tjap Gudang Garam | |
| PT Rothmans of Pall Mall Indonesia | |
| PT Surya Pamenang | |
| C V Daun Djeruk | |
| Dijitoe Indonesian Tobacco Coy, PT (Machinery Division) | |
| H M Sampoerna P T | |
| NV Sumatra Tobacco Trading Co. | |
| PT BAT Indonesia | |
| PT Bentoel Prima, Head Office | BAT |
| PT Djarum | |
| PT Gentong Gotri | |
| PT Kerbau Tobacco Co Ltd | |
| PT Kilang Rokok Sehat | |
| PT Kisaran Tobacco Co | |
| PT Kompas Agung | |
| PT Nojorono | |
| PT Pagi Tobacco | |
| PT Permona | |
| PT Perusahaan Rokok Tjap Gudang Garam | |
| PT Phinisi Tobacco | |
| PT Surya Pamenang | |
| PT Villiger Tobacco Indonesia Surabaya | |
| Soehoko, PT | |
| Sriwidjaja NV | |
| Taru Martani PD | |